

# 「福祉人材の定着に関する調査報告書」

- 1.調査目的** 採用・定着に向けた職場環境等の改善に結びつけるとともに、本会法人支援部経営相談室に対しても情報提供をおこない、社会福祉法人等への経営指導事業に役立てることを目的に実施
- 2.調査時期** 平成28年10月～平成29年9月
- 3.調査方法** 調査票による郵送調査
- 4.調査対象** 本会福祉人材センター無料職業紹介所に求職登録をし、本センターの紹介を通じて就職したもので就職後1年経過した方(以下、「1年後」) ※注:1年後対象者は、平成27年10月～平成28年9月に就職した者。

## 5.回答数・回収率

対象者数	回答数	回収率
252名	62	24.6%

## 6.回答者の属性

### (1)性別について

回答者のうち、約8割が女性。

性別	人数	割合(%)
女性	47	75.8
男性	15	24.2

### (2)年齢について

回答者の約5割が20代。

職場分野	人数	割合(%)
～20代	0	0.0
20代	28	45.2
30代	6	9.7
40代	5	8.1
50代	15	24.2
60代	8	12.9

### (3)職場の分野について

回答者の6割が高齢者分野に勤務。

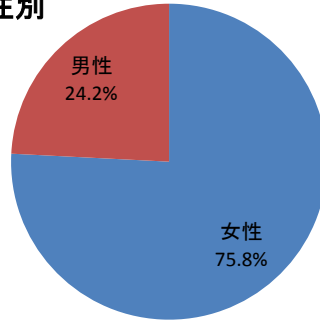
職場分野	人数	割合(%)
高齢者	37	59.7
児童	16	25.8
障害	6	9.7
その他	3	4.8

### (4)職種について

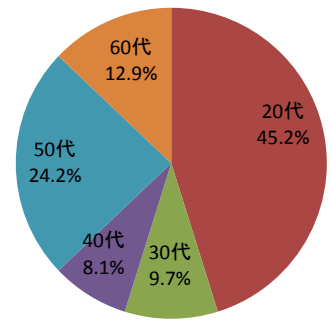
回答者の約5割が介護職員。

職種	人数	割合(%)
介護職員	32	51.6
ホームヘルパー	5	8.1
保育士	15	24.2
相談員・指導員	4	6.5
介護支援専門員	0	0.0
ケアマネ	0	0.0
看護師	3	4.8
栄養士	1	1.6
調理員	0	0.0
セラピスト	1	1.6
事務職員	1	1.6
その他	0	0.0

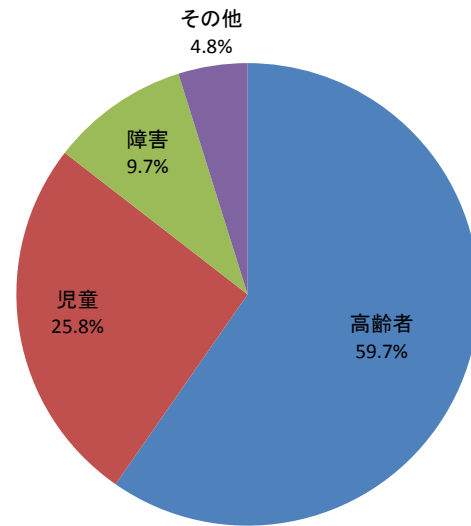
性別



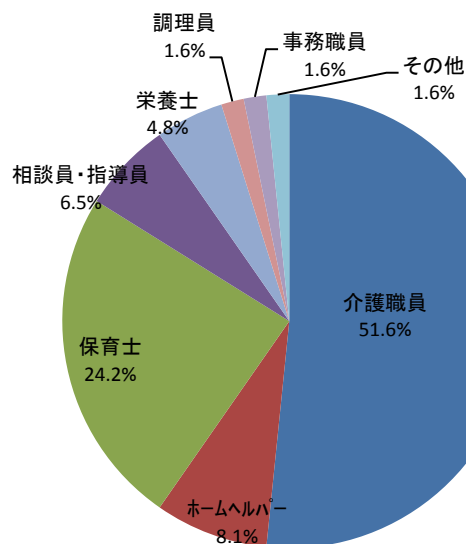
年齢



職場分野



職種

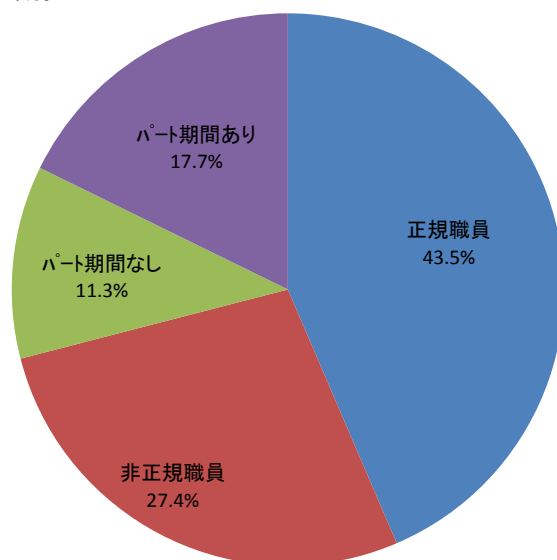


### (5)雇用形態について

回答者のうち、約4割が正規職員。非正規職員・パート職員が各3割。

職種	人数	割合(%)
正規職員	27	43.5
非正規職員	17	27.4
パート (雇用期間定めなし)	7	11.3
パート (雇用期間定めあり)	11	17.7

雇用形態

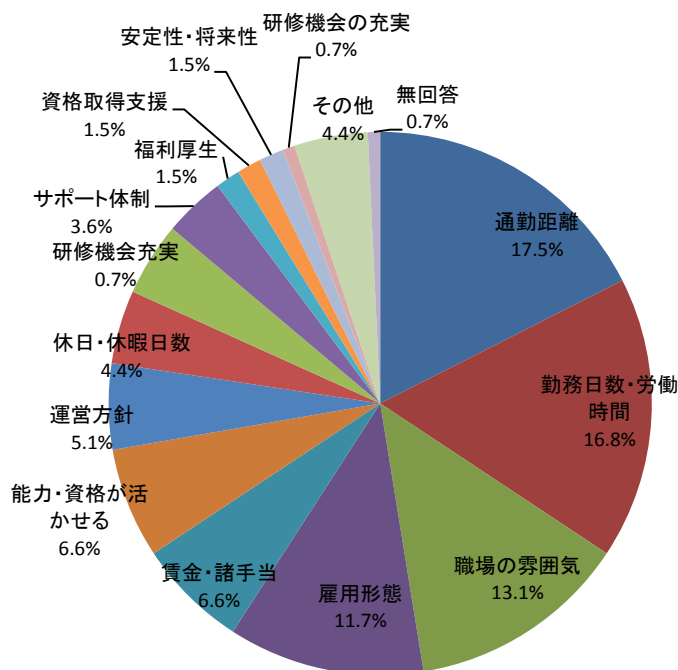


## 7.調査結果の概要

### (1)職場を選んだ理由について

選んだ理由	人数	割合(%)
通勤距離	24	17.5
勤務日数・労働時間	23	16.8
職場の雰囲気	18	13.1
雇用形態	16	11.7
賃金・諸手当	9	6.6
能力・資格が活かせる	9	6.6
運営方針	7	5.1
休日・休暇日数	6	4.4
新しい施設	6	4.4
サポート体制	5	3.6
福利厚生	2	1.5
資格取得支援	2	1.5
安定性・将来性	2	1.5
研修機会の充実	1	0.7
その他	6	4.4
無回答	1	0.7

職場を選んだ理由



#### ◎「その他」を選択した回答者の意見

- ・職業訓練で資格取得し、そのまま活かせると思った。
- ・知人の紹介。
- ・高校生の時に実習に行ったことがある（保育）。

### ◆結果と考察

職場を選んだ理由で最も多かった回答は「通勤距離」、続いて「勤務日数・労働時間」、「職場の雰囲気」の順であった。

求職登録されている方々は、求人への応募を検討される際、知り合いなどから法人の情報を事前に入手し、いわゆる「評判」を気にされている。

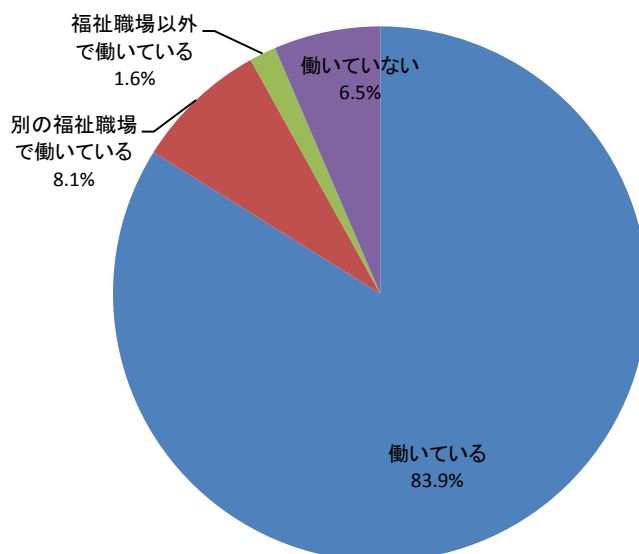
本センターでは、求職者が求人事業所に応募する前に、「職場見学・体験」をすすめて、職場の雰囲気を感じ、状況を把握してもらうことでミスマッチを防ぐよう努めている。

(2)職場の定着について

①現在、同じ職場で働いているか。

現況	人数	割合(%)
働いている	52	83.9
別の福祉職場で働いている	5	8.1
福祉職場以外で働いている	1	1.6
働いていない	4	6.5

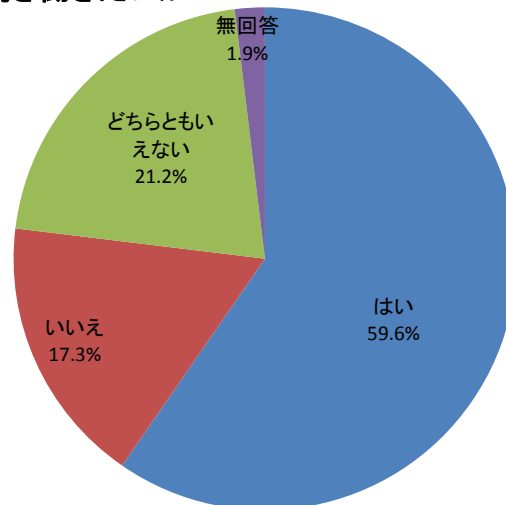
現在の就業状況



②引き続き働きたいか

現況	人数	割合(%)
はい	31	59.6
いいえ	9	17.3
どちらともいえない	11	21.2
無回答	1	1.9

引き続き働きたいか



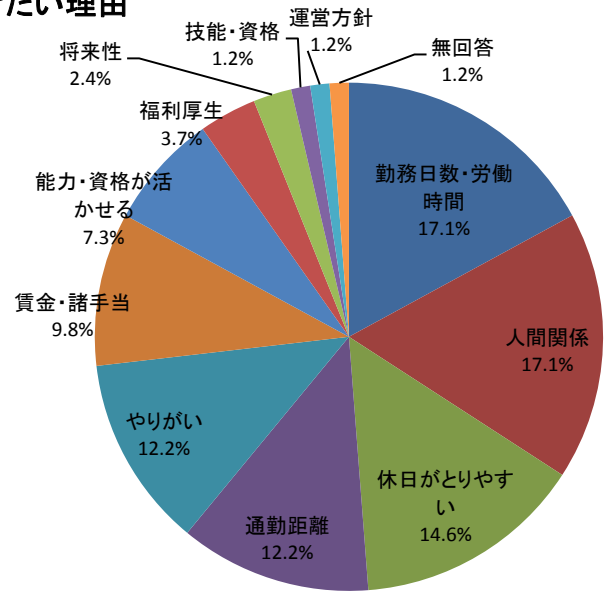
◎「どちらともいえない」を選択した方の回答者の理由（回答原文を記載）

- ・先輩はいい人ばかりで良いところだが、賃金が低く、今後の生活を考えると続けられる自信がない。
- ・ユニット化し働きやすくなったが、賃金の安さ、勤務中の不満等いろいろでてきて何とも言えない。
- ・1日8時間以上働いているが、収入が少なくこの先不安。年齢も考えれば、仕方ないが貯金を取り崩しながらの生活がいつまで続くか。職員が気を使ってくれるので簡単にはやめたくない。
- ・仕事にはやりがいを感じているが、人間関係でうまくいかない事が多くなってきているので先があるのか分かりません。
- ・対人関係の難しさや自分の力不足、健康管理の難しさから失敗することも多かったため、退職について時々考えるから。
- ・いつも欠員で人手不足なのでハードな夜勤。パートなのに正社員以上の仕事をしている。
- ・まだ期間が短くわからない。
- ・常に人と関わる仕事は自分に合わないのではと感じているが、まだキャリアが浅いので、自分の思い込みでは？と考えていて迷っている。
- ・状況に応じて退職や産休となっても福祉職場でもう1度という事はあるかもしれないし、ないかもしれない。特に職にこだわりがない。
- ・現在の職場よりも働きやすい職場が見つければ転職するかもしれない。

③引き続き働きたい理由(②ではいと答えた方)

退職理由	人数	割合(%)
勤務日数・労働時間	14	17.1
人間関係	14	17.1
休日がとりやすい	12	14.6
通勤距離	10	12.2
やりがい	10	12.2
賃金・諸手当	8	9.8
能力・資格が活かせる	6	7.3
福利厚生	3	3.7
将来性	2	2.4
技能・資格	1	1.2
運営方針	1	1.2
評価	0	0.0
その他	1	1.9

働きたい理由

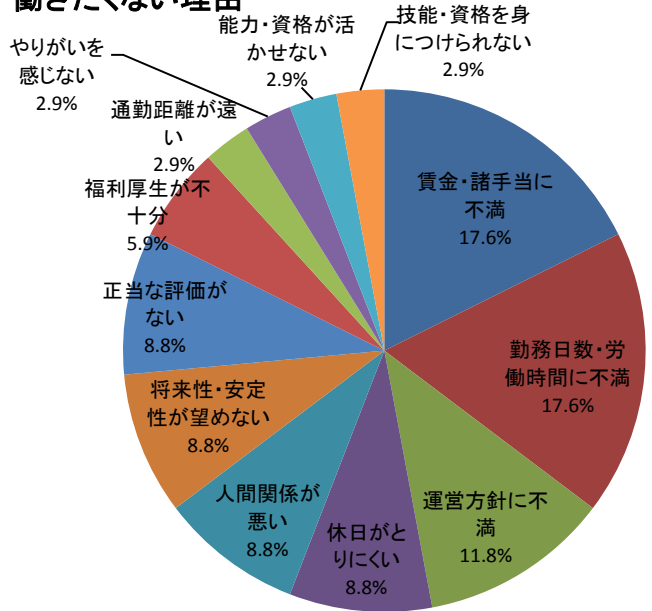


■回答方法  
※13項目のうち、重点を置いたものを3つ選択

④引き続き働きたくない理由(②でいいえと答えた方)

退職理由	人数	割合(%)
賃金・諸手当に不満	6	17.6
勤務日数・労働時間に不満	6	17.6
運営方針に不満	4	11.8
休日がとりにくい	3	8.8
人間関係が悪い	3	8.8
将来性・安定性が望めない	3	8.8
正当な評価がない	3	8.8
福利厚生が不十分	2	5.9
通勤距離が遠い	1	2.9
やりがいを感じない	1	2.9
能力・資格が活かさせない	1	2.9
技能・資格を身につけられない	1	2.9
その他	0	0.0

働きたくない理由



■回答方法  
※13項目のうち、重点を置いたものを3つ選択

◆結果と考察

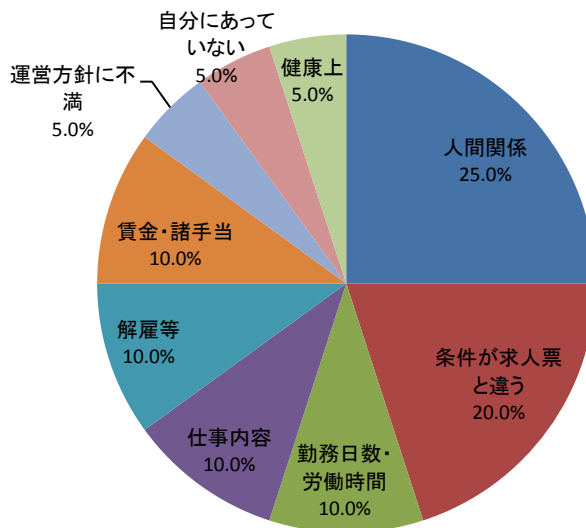
職場の定着については、回答者のうち、8割以上が就職1年後も同じ職場で働いており、そのうち約6割が引き続き働きたいと回答した。  
引き続き働きたい理由、働きたくない理由ともに「労働時間」や「休日」に関する項目が上位となった。また、引き続き働きたいかの回答に「どちらともいえない」を選択した回答者の理由として、「賃金」・「労働時間」に関する労働条件を指摘する意見が多くあった。  
職員が長く働くためには、労働条件の充実が重要になると考えられる。

### (3)退職理由について

「人間関係」が25%を占め、続いて「条件が求人票と違う」という結果になった。

退職理由	人数	割合(%)
人間関係	5	25.0
条件が求人票と違う	4	20.0
勤務日数・労働時間	2	10.0
仕事内容	2	10.0
解雇等	2	10.0
賃金・諸手当	2	10.0
運営方針に不満	1	5.0
自分にあていない	1	5.0
健康上	1	5.0
能力・資格	0	0.0
休日・休暇	0	0.0
技能・資格が身につかない	0	0.0
結婚・出産等	0	0.0
評価	0	0.0
育児・介護制度	0	0.0
契約期間満了	0	0.0
その他	0	0.0

退職の理由



■ 回答方法  
※17項目のうち、重点を置いたものを3つ選択

#### ◎退職理由の「具体的な理由」を記載した回答（回答原文を記載）

- ・職場のチームワークの無さ(協力性の無さ)。
- ・看護師という立場を利用し、自分は上だからということで仕事をしない。
- ・自分の都合で利用者に強く当たる職員がいた。
- ・人間関係に鼻頂があったため。
- ・相談もできなかった(みんなが自分のことでもいいっばい)。
- ・基礎的なことを丁寧に教えてもらえない(教えてもらう時間がない)。
- ・雇用主が福祉の経験がなく、聞く耳を持たない。勝手に勤務条件も変更され、応じることができなかったため退職に追い込まれた。
- ・労働条件について、休憩時間1時間とあっても実際は40～50分、勤務時間8:30～17:30でも実際は8:00～18:30(ひどい時は19:00)で、今タイムカード無しで手書きで8:30～17:30と書かせる。早番はパートは50円、正社員は100円ついている。正社員枠で入ったのに仕事が出来ないからとパートになり、時給800円が1年以上。とにかく人間関係最悪で、私以外の社員にはないのに私にはひどい口のききよう。上から目線で30歳の看護師からいじめです。
- ・賃金の初額が違った。
- ・勤務時間がおかしい。超過分が早出につけて時間上がりを早くするようになっているが、全くその通りいかず、ボランティア残業になっている。(監査で引っ掛からないのが不思議)
- ・残業がとてども多く(強制的)家庭を持つと難しい。
- ・仕事量が多かった。
- ・年間の休みが少ない。(週40時間ではなく年間変形)月～土までフルが多い。
- ・勤務時間が基本的に合致しなかったため。
- ・早・遅出など人によって回数が違う。
- ・積み立てや残業が明確でなく、お金の事が不明。不信。
- ・通勤距離が遠く(約1時間)、早起きや夜遅い帰宅がストレスだった。
- ・職場廃業による全員解雇。

#### ◆結果と考察

退職理由で最も多く選択されたものは、「人間関係」であった。具体的理由を参考に職場環境について見直す必要があるであろう。  
「条件が求人票と違う」との意見もあった。職業安定法令の改正に伴い労働条件の明示等制度変更があり注意が必要である。

#### (4)離職を防止するために何が重要だと思うか。(回答原文を記載)

##### ◎人間関係が重要 29件

- ・いじめがなく、信頼関係が構築でき、相談できる環境。
- ・悪口を言わない。
- ・風通しの良い職場づくり。
- ・平等に接することができる環境。
- ・上司・先輩からのフォロー、手助けがある。
- ・安心感がある。
- ・モチベーション維持ができる。
- ・私たちの園では、コソコソ話をしないという約束のようなものがあります
- ・この仕事はとっても好きだし、お客様もとっても好きなのに、心ない看護師の一言で、落ち込んでちっとも楽しくない毎日です。注意するのは良いのだけど、その注意の言い方です。その人の身になって言うという基本がなっていないと離職率は下がりません。
- ・職員を大切にすることが居ること。
- ・スタッフ同士のコミュニケーション。
- ・上下関係が重要。
- ・職場からのねぎらい。
- ・エルダー制度がある。
- ・歳の近い先生たちで悩み相談などし、楽しい雰囲気の中で働く事が重要だと思う。
- ・人間関係に対しての施設側の配慮(配置転換など)。
- ・上司が部下の希望を叶えてくれる

##### ◎賃金・手当等の向上 21件

- ・仕事の内容や量にあった給与。
- ・ボーナスがない。
- ・保育士の労働時間(サービス残業)がおおく、家に持ち帰り仕事をする事が多い。その手当が出るとよい。国が現状を理解し、政策を打ち出すことが重要。
- ・看護師も一緒に働いていますが、賃金他が違いすぎる。看護師が介護職員よりも上という雰囲気があるので公平にしてほしい。(家族がいたり一人暮らしをしたりして、生活に精一杯で貯金もできないのは将来に不安を感じる)

##### ◎労働条件・環境の改善 20件

- ・休日の確保。
- ・仕事量を減らす。
- ・職員を増やす。
- ・残業が多い。
- ・シフトの組み方。
- ・負担のないような施設の設備改善。
- ・0歳児は、子ども3人につき保育士1人と国で定めがあるが、保育の現状厳しいものがある。日々いっぱい現場を知ってほしい。国が現状を理解し、政策を打ち出すことが重要。
- ・夜勤は職員を2人体制にしてほしい。
- ・福利厚生と時間外勤務がないこと。
- ・有休取得率がいい。
- ・資格取得に協力的。
- ・休みを取得しやすくする事(上の人間が積極的に休みを取るなど)。
- ・初職場で不安のある中、指導職員が忙しい時など、ほっとかれたり、指導が雑。教育に専念できる職員が必要。

#### ◆結果と考察

離職を防止する要素は、「人間関係・賃金・労働条件」の改善に集約された。  
人間関係の一つに今回の回答にもあるとおり、「上司の存在」があげられる。信頼のおける上司の存在は、離職防止の重要なポイントでもあることから、中堅職員や指導的立場の職員育成が大切である。  
なお、本会にて実施している「エルダー制度(保育分野)」(※介護分野においては平成30年度導入予定)も新人職員定着に一定の効果を示しており、ぜひ取組みの検討をお願いしたい。  
賃金の改善に向けては、同一労働同一賃金の導入や処遇改善加算の積極的な取得とともにキャリアパス制度の構築も必要と思われる。  
休日や労働時間に関しては、職員のライフスタイルを大切に、国の進める「ワークライフバランス」に配慮した柔軟な働き方を促進する必要がある。

## その他自由記載（回答原文をそのまま記載）

- ・職場を選ぶときは、一番に人間関係がよいところを考えていたがどの職場でも大変なところはあると思う。
- ・福祉施設での離職者は多い。現場の人間関係は複雑で悪く、手当の無い残業も多い。やりがいはあるが、心身ともに疲れ切らない工夫が必要。
- ・介護現場はストレスがたまるのに、上の人は褒める事をしない。叱ってばかりでは下は育たないと思う。ここは退職者多い理由が分かりました。
- ・若い職員とベテラン職員の考え方の違いに戸惑う。利用者対職員ではなく、職員同士の意見のぶつかり合いやベテラン職員の固執した考えが、時には全体を振り回すことがある。家族の考え、施設に入れたからいいという事ではなく1ヶ月に1回でも時間を合わせられるはずなので会いに来てほしい。認知症について、まだまだ理解が足りない。若い人は新しい知識対応が良いが、嫌悪感がでると虐待につながる。もう少し、学校や職場に講師が言って講演してほしい。
- ・看護師は介護士よりも偉い訳ではないと思いますが、とても上から目線で話をされます。また、仕方がない事ですが新人は有休が少ないから3連休も取れないし、働く日数も多いですが、何年も働いていると若いのに有休も多いのでたくさん休まれて、50歳後半でも新人に負担がかかっています。おまけに、正職員でもないのに負担が大きく、体がボロボロです。
- ・とにかくこの業界はサービス残業が多すぎる。時給のパート職員なのに責任や仕事内容は正社員と一緒に嫌になります。毎日お客様の為に一生懸命自分なりにやっているつもりなのですが、ちっとも報われません。唯一お客様の「ありがとう」という言葉や「あなたがいるからここに来るんよ」という言葉に今は救われていて仕事を続けている状態です。〇〇〇会の〇〇〇に勤めています。とにかく当たり前のようにみんな毎日サービス残業30分～1時間しています。
- ・ケアの内容が異常に多い訪問先があり、新人にはできない。誰でもできるケア内容にしてほしい。
- ・研修では、ケアに入った1人分の調理を作ると習ったが、現場では家族の分を作らされたりした。
- ・訪問先でケア以外の生活問題で相手が納得しなければ、ケアに進むことができず、時間超過をすることが多く内容を含め見直しが必要。
- ・病気等になっても、休みを希望できず、無理をして働き治らない。
- ・人員が少ないうえに、短時間勤務の人が多く、ほとんどの人が土日祝の休み希望をしており、休みがとりづらい。土日祝の勤務をしても、手当がないため、誰も出たくないと思う。
- ・休日出勤反対
- ・訪問先へ自家用車で訪問することがあり、通勤も遠いため交通費を支給してほしい。
- ・仕事がつらくても、それに伴った給料がもらえればやっていけるが、人間関係がうまくいかない場合はやっていけない。
- ・給与明細書に基本給のみしか記入がないため、手当、交通費など金額を明示してほしい。
- ・保育士は、手当がつかないサービス業が多く仕事量に対して給与が低すぎる。主担の負担が大きい。休憩時間があってもその中で書類書きや、職員会など毎日ゆっくり気を休めることも難しい。仕事量にあった給与がもらえると大変な現状だが頑張れる。
- ・給料も低く、休みも少ないので今後の生活にも影響するので転職を考えている。
- ・介護職は人の出入りが多い。原因は、体力的・精神的にハードな割に賃金や労働環境に恵まれていないからだと思う。
- ・どこの施設も同じだと思いますが、少ない職員、限られた人数でシフトを汲んで働いていますので、皆疲れています。募集はしてもなかなか職員は入ってはきません。やはり、一番は給料が安いからだと思います。3Kでも5Kでも給料が良ければ人は来ます。
- ・利用者に対する心のあり方が重要。介護より営利が先にある。職員は使い捨てではない。
- ・一般企業でも労働条件がよく社員を大切に考える企業は定職率が高いと思うが、介護職は消耗感があり、使い捨て感が否めない。
- ・お金休日が全てではないが、福利厚生改善を強く求める。
- ・規模の大きい事業所は独自の福利厚生を導入し働きやすさやモチベーションの向上へつなげる努力をしているところもあると思うが、全体としては行き届いていない状況である。
- ・障害児童を取り巻く環境、家族等に問題を感じる。家庭にどこまで踏み込んでいいのか難しさを感じる。子どもたちの幸せや悩みを話し合える職員がいるから頑張れる
- ・介護職はきつくて大変というイメージから職に就く人が少なく、就職後も報われないと感じて離職するようになると思う。
- ・施設内環境が適当すぎるため、事故が絶えない。お金がないという理由で変更してもらえない。
- ・職場でのストレスを家に持ち込んでしまう自分がいけないと思いつつ、直せないで家族に迷惑をかけている。今後はもっと体力を増やしていき、職場でも迷惑をかけないようにしようと思う。
- ・仕事が理由で腰痛になっていて、2週間に1回のペースで接骨院に行っている。毎回3500円かかる…。昼休みがパソコン入力で30分つぶれて、実際ゆっくり出来るのは30分しかない…。ゆっくり休めない。パートなのに！！
- ・色々な施設の方に話を聞きますが、充実した施設はありません。正直頭が足りない所ばかり。資格を持っていても福祉の仕事につかないじゃなくて、つけない。
- ・自分の就きたい仕事に、正社員で就職ができ上司や同僚にも分からない事があれば気楽に相談する事ができ充実している。
- ・それぞれ利用者様のお宅にお伺いして身体介護と生活介護をさせていただくのに、皆でバラバラの介護になると困られますので、同じようにサービスしていただけるよう話し合っています。私は今の職が居心地が良かったのだと思っています、ヘルパーは時間と「ほう・れん・そう」で頑張っています。
- ・もっと現場レベルで介護知識を深めたいと思うが、なかなかその機会に参加できない。事業所単位で研修はあるが参加できる人が限られている。個人単位で参加でき、かつ高度な介護知識、技術が学べる研修があれば参加したいし、助かると思う。
- ・人材センターの方には丁寧に対応して頂き感謝しております。前回、相談してから1年。その職場は退職し、現在は別の事業所で保育士をしています。まだ、始まったばかりですが、自分の子育てをしながら続けていけたらいいなと思っています。正直、求人票以外のことで不明確なところが多く、そこで不安や不満が出てきたりするのですが、細かい内部の情報が何かしらで分かるので、今回は知人に沢山聞く事が多かったです。1つの事業所で長く勤務できるよう頑張ります！
- ・昨年の就職の時にはお世話になり、ありがとうございました。悩みもありますが、充実した毎日を送っています。努力を重ねて少しずつ慣れていこうと思います。
- ・情報提供ありがとうございました。
- ・介護に関する講習会が役に立ちました。